

宮崎県産業教育審議会への諮問について

【諮問事項】

「新たな時代を切り拓く産業教育の在り方」について

【諮問理由】

本県産業を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の進行により、次世代を担う人材の確保・育成が困難な状況となっており、AIやデジタルを活用したビジネスモデルへの変革が求められています。

本県産業教育においては、デジタル時代に対応すべく最新の機器での授業や、産学官等と連携して地域を学びのフィールドとした協働的な課題解決型学習等、地域に貢献する人材の育成を目指した教育活動を実践しています。

一方で、今年度の県立学校入学者状況を見ると、産業系学科を設置している全日制高校22校73学科のうち、半数以上の37学科で定員が未充足となっております。産業系学科で学ぶ高校生は、将来の本県産業を支えていく貴重な存在です。

そこで、変化の著しい時代を生き抜くためには、現状をチャンスと捉え、これまでの知識や技術の習得に加え、創造力や探究的能力、アントレプレナーシップの育成等、実践的かつ柔軟な教育プログラムの展開を図ることが重要です。さらに学校の垣根を超えた協働的学習や学科間の融合によるイノベーションで地域課題を発見し解決を目指す取り組みなど、これまでになかった産業教育の在り方を示す必要があると考えます。

また、「ひなたの学び」を取り入れた本県ならではの新しい産業教育を展開することで、これからのVUCA時代に対応できる力と地域社会の課題に当事者意識を持って解決し価値創造に寄与することができる人材を育成し、産業を学ぶ生徒一人一人のウェルビーイングが地域社会に広がり、その広がりが多様な個人を支え、将来に渡って世代を超えて循環する持続可能な社会が実現できると確信します。

このような観点から、今後の社会状況の変化を見据えた本県産業教育の在り方について検討していただければと思います。

なお、審議にあたっては、諮問理由を踏まえ、次の視点に基づいた具体的な検討をお願いいたします。

【審議の視点】

視点1 地域の課題に当事者意識を持って学び続ける生徒の育成

視点2 持続可能で新たな産業教育を実践するための魅力ある学科や学校づくり